

丹波篠山市立今田中学校 学習や生活に関する学力向上プラン(2年生)

丹波篠山市学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。本校では、今回のプランに基づいて、お子様一人一人の学習のあり方や生活習慣について、指導や支援の方法を検証し、取り組みを充実していきます。

ご家庭におかれましても、学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対して、ご支援いただきますようお願いいたします。

国語科
【結果の概要】 全国平均より下回っていますが、基礎的な力は昨年度より伸びが見られました。また記述式の問いに対する正答率は、全国・市を大きく上回っており良好な結果となりました。また、昨年度苦手であった「話す・聞く」と「歴史的仮名遣い」の項目は全国・市平均を上回り、良好な結果となりました。 【今後の方策】 基礎学力の定着のため、漢字ノートや小テストなどの取組を継続していきます。そして、文章の中から必要な情報を読み取ることや、資料から必要な情報を読み取って自分の考えと比較する学習に重点的に取り組んでいます。また、文章を書くことや自分の考えを伝える活動に、積極的に取り組んでいます。
数学科
【結果の概要】 「数と式」「図形」「データの活用」の領域は、全国の平均と同程度、またはそれを上回っており、良好な結果でした。「関数」の領域においては、全国・県の平均より下回っており、「比例・反比例」において課題が見られました。また、データ活用の基礎となる「ヒストグラム」の読み取りにも課題が見られました。 【今後の方策】 正答率が昨年度より大きく伸びており、今後も生徒が協働しながら学習を進め、できた喜びや満足感を育んでいきます。「関数」や「比例・反比例」、課題が見られた内容に関しては、基礎を繰り返し復習し、知識や技能を身につけることができる学習を行います。
生活状況調査
【結果の概要】 すべての項目で全国平均を上回り、特に「規範意識」「社会参画」「学級の絆」のポイントが高く、次いで「感動体験」「先生の支え」も比較的高い傾向が見られました。一方で「生活習慣」と「対人関係」の項目のポイントが低く、SNSの利用時間やクラスメイトとの人間関係に課題が見られました。 【今後の方策】 「生活習慣」については、SNS利用の仕方や早寝早起きについて、これからも注意喚起を行っていきます。「対人関係」については、生徒の様子をよく観察し、小さな変化を見逃さず声をかけて、安心して本音を言える人間関係を構築していきます。また、生徒が自分の複雑な気持ちを安心して言葉に表し、自己解決に向かえる力を育成していきます。